

# 新約聖書の中の祈り③

熊本聖書フォーラム

2020年6月28日

出典：MBS147 “Prayer in New Testament History” Arnold G. Fruchtenbaum, TH.M., PH.D.

## アウトライン

1. イエスの祈り（22の事例）
2. 福音書における他の祈り
3. 使徒の働きにおける祈り
4. 書簡における祈り

本日は、イエスの祈り 11番から13番

## イエスの祈り 22の事例の中から

11. 子どもたちを祝福したときの祈り
12. ラザロのよみがえりのときの祈り
13. ギリシヤ人がイエスに面会を求めたときの祈り

## 11番 子どもたちを祝福したとき P.3

マタ19：13～15

- 子どもたちが連れて来られた
- 弟子たちは、子どもたちを叱った
- イエスは、弟子たちを止めた
- 天の御国はこのような者たちの国である
- イエスは手を彼らの上に置いて祈った

## 前後の文脈 P.3～4

### マタイ19：1～15

- 妻、独身者、子ども
- 「天の御国のために自分から独身者になった者」
  - 先駆者ヨハネ、イエス、パウロ
  - I コリ7：1、7 独身は聖霊の賜物のひとつ（全部で19）

### マタイ19：16～24

- 地位も富もある青年（「役人」ルカ18：18）

## 子どもたちに対する態度 P.4

### マルコ10：14～16

- イエスは弟子たちに憤って言った
- 子どもたちを来させなさい
- まことにあなたがたに告げます
- 子どものように神の国を受け入れる者でなければ決してそこに、入ることはできません

## 11番の祈りの特徴

P.4

- ①内 容：祝福の祈り・・・祝福のための特別な暗唱文による祈りであろう
  - ②姿 勢：子どもたちを抱く、手を子どもたちの上に置く
- 参考箇所 創世記48：9、14「手を頭の上に置き」

## 12番 ラザロのよみがえり P.4～5

- ヨハネ11章の文脈
  - ① ラザロの死 (1～16節)
  - ② イエスとマルタ (17～27節)
  - ③ イエスとマリヤ (28～32節)
  - ④ イエスとラザロ (33～44節)
  - ⑤ 指導者たちの拒否 (45～53節)
- イエスの祈り (41～42節)

## 12番の祈りの特徴 その1 P.5

- ①姿勢：目を上げた
- ②対象：父なる神
- ③回数：2回目の祈り
- ④種類：感謝の祈り
- ⑤確信：父なる神がいつも祈りを聞いていてくださる

## 12番の祈りの特徴 その2 P.5

- ⑥内容：回りにいる群衆のための祈り
- ⑦個人的な祈りではなく、公の祈り
- ⑧結果：ラザロのよみがえり。そして多くの人々がイエスを信じたが（45節）、指導者たちはイエス暗殺を計画（46～53節）
- ⑨イエスの対応（54節） エルサレムから離れた

## 13番 ギリシヤ人の求め P.6

### • ヨハネ12章の文脈

- ① 過越の祭りの6日前、ベタニヤに到着（1～11節）
- ② その翌日、エルサレムに入城（12～19節）
- ③ ギリシヤ人がイエスに面会を求める（20～22節）
- ④ 永遠のいのちへの招き（23～36節）

### • イエスの祈り（27～28節）

## 13番の祈りの特徴 P.6

- ① 対象：父なる神
- ② 心境：「今わたしの心は騒いでいる」
- ③ 内容：覚悟【自分が死なずに済むようにとは決して祈るつもりはない】、願い【御名の栄光を現わしてください】または賛美【あなたの御名をあげます】
- ④ 応答：天から声が響く。3回目のバット・コル
- ⑤ 個人的な祈りではなく、公の祈り（賛美の祈り）